

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしこく たくましく」



# 「元気・笑顔・成長」南小

第15号 令和5年11月13日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 173  
PTA数 127

## 「健康教育」研究発表会開催！

■11月7日（火）に「健康教育」研究発表会を開催しました。昨年度から「健康教育推進校」として熊本県教育委員会の指定を受け、研究や取組を進めてきました。当日は、人吉球磨管内だけでなく熊本県内各地から参加があり、100名以上の来校がありました。

研究主題を次のように設定し、一人一人を成長させようとして取り組んできました。

自ら考え、なりたい自分に向かってチャレンジする相良っ子の育成  
～子供が自分の成長を感じる健康教育を通して～

授業は1・3・5年を見ていただきました。多数の参観者の中でも、子供たちが元気よく授業に臨む様子や、体を動かしたり、調べたり、話し合ったりする様子がありました。

全体会では、研究主任の長谷先生が研究の概要や成果など発表しました。様々な取組を通して、「健康への意識の向上」「生活習慣の改善」「体力の向上」「自己肯定感の向上」など様々な面で変容があらわれていました。

■1年は、平松先生が学級活動「姿勢名人になろう」の授業を行いました。

それまでの授業で、姿勢を正しくすることが「骨や目、おなか」に影響があることを学んでいます。大事だと分かっているけど、実際に姿勢を正しくすることができていない実態があります。では、どうするか、という授業です。

授業では、学校医の緒方先生にビデオで登場してもらい、「体幹（体を支える力）を強くすることが大事」と教えていただきました。その具体的な方法として、体幹トレーニングを養護教諭の仲嶺先生が教えます。それを実際にみんなでやってみました。

授業の最後に子供たちは「姿勢をよくしたいです」と今後の決意を述べていました。



■3年は、米多先生が総合的な学習の時間「お茶のひみつを調べよう」の授業を行いました。相良村の特産物である「お茶」と「健康」との関係を調べていく授業です。

子供たちは、資料で調べる、動画で調べる、お茶農家の川上さんの話を聞く、お茶インストラクターの川上さんの話を聞く、の4グループに分かれて調べ学習を行いました。

授業の後半、調べたことを発表していきます。20個ほども効果があることが分かりました。分類すると、「病気を防ぐ」「リラックス」「ダイエット」「若返る」と大きく4つになりました。子供たちは、お茶の凄さに驚いていました。

授業の最後には子供たちは「お茶を毎日飲んでいきたい」など感想を発表していました。



■5年は、轟先生が体育（保健）「けがの防止」の授業を行いました。毎年多くの小学生が、けがや事故にあっています。そのけがや事故の「原因」を考えていきました。

事例を基に考えていくと、「おにごっこをしている」「ろうかを走る」「心配事がある」「夢中になる」「ろうかがぬれている」「見通しが悪い」など様々に原因があります。分類すると、「人の行動」「心や体の調子」「環境」の3つに分けられます。学校内外の生活や環境面に原因があることが分かりました。

振り返りて、「急いでいる時によくけがをするので、落ち着いた生活を心がけたいです」と、今後の生活に生かそうと考えていました。



■参観された方から、「素晴らしい発表会でした」「素晴らしい子供たちですね」「感動しました」など、たくさんの声をいただきました。下はアンケートの言葉です。

- ・子供たちが生き生きと活動している様子が印象的でした。
- ・健康教育を学校全体で進められていることで様々な成果が出ており、素晴らしいと思いました。
- ・今回学んだことを自校の児童に伝えていきたいと思います。



↑相良南小学校HP  
ぜひご覧ください。